

令和8年度日本大学推薦入試 推薦基準等説明会報告

5月に入り、日大の各学部で教員対象の推薦入試に関する説明会が開催されています。その中から、生徒の皆さんにも知ってほしいことを共有します。今後、以下の学科の他にも、説明会が実施されるので、高3は各連絡を把握するようにしてください。

【芸術学部】

- 各学科とのマッチングが非常に重要。日芸を志望するならば、オープンキャンパスで該当学科の教授と面談しよう。
- 実技試験を伴う学科は、予備校に通うなどして、スキルを身に付けておくことが大事。
- 総合型選抜から受験することも出来るが、必ず担任の先生と相談すること。

【理工学部】

- 全ての学科で口頭試問あり。志望動機などの質問以外に受験学科に関する専門的な内容が問われる。理科や数学など高校での授業内容をしっかりと理解しておくこと。

【医学部】

- 基礎学力選抜のみ実施。
- 試験当日は約30分間の面接がある。
志望理由、高校生活について、社会的なトピックスについてどう思うかが問われ、面接内容も点数化される。

【歯学部】

- 基礎学力選抜のみ実施。
- 試験当日の内容は①適性検査(90分、英・国・数・一般常識等) ②面接(10分)である。
- 面接は受験生1名につき、面接官は2名で実施

基礎学力到達度テスト高3・9

9月24日(木)に実施される基礎学(高3)の範囲です。

教科	科目・試験範囲等
国語	「現代の国語、言語文化」 ※近代以降の文章(論理的な文章、文学的文章)及び古典(古文、漢文)とする。
数学(文系)	「数学Ⅰの全範囲、数学A(図形の性質、場合の数と確率)、数学Ⅱの全範囲は必須とし、数学B(数列、統計的な推測)、数学C(ベクトル)の3単元から2単元を選択」
数学(理系)	「数学Ⅰの全範囲、数学A(図形の性質、場合の数と確率)、数学Ⅱの全範囲、数学B(数列)、数学Ⅲ(極限)、数学C(ベクトル)は必須とし、数学Ⅳ(微分法・微分法の応用)、数学B(統計的な推測)、数学C(平面上の曲線と複素数平面)の3単元から1単元を選択」
外国語	「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、論理・表現Ⅰ」(リスニングテストを含む)
地理歴史・公民(文系)	「地理総合、地理探究」 全範囲 「歴史総合、日本史探究」 「歴史総合」大問2題から1題を選択 「日本史探究」『詳説 日本史』第10章「幕藩体制の動揺」まで 「歴史総合、世界史探究」 「歴史総合」大問2題から1題を選択 「世界史探究」『詳説 世界史』第1章「I 文明の誕生」から、第12章「4 中南米諸国の独立」まで 「公共、倫理、政治・経済」 試験科目を「公共」と「倫理」若しくは「公共」と「政治・経済」からの選択とする。 「公共」国際政治、国際経済、持続可能な社会づくりの主体となる私たちを除く 「倫理」現代の諸課題と倫理を除く 「政治・経済」現代日本における諸課題の探究、国際社会の諸課題の探究を除き、国際政治と国際経済の範囲から1題を選択 から1科目選択
理科(理系)	「物理基礎全範囲、物理(電流と磁界、電磁誘導と電磁波、原子を除く)」、 「化学基礎全範囲、化学(有機化合物の性質、化学が果たす役割を除く)」、 ※高分子化合物も除く、 「生物基礎全範囲、生物(生物の環境応答、生態と環境を除く)」、 から1科目選択

「付属特別選抜」について

付属特別選抜は、学部等のアドミッションポリシーに基づく推薦です。学部より提示された募集人員及び推薦の要件等に基づく校長推薦により、推薦者を決定します。推薦要件は、評定平均値・履修科目・検定等の資格や競技実績など様々です。選考方法は、面接・小論文・実技試験などです。推薦要件や選考方法は、学科により異なりますが、実は「付属特別選抜」には2種類あります。

①豊山枠

- 令和8年度入試では、法・文理・経済・商・国際関係・危機管理・理工・生産工・工・薬・生物資源科・短大(三島)で募集がありました。 ※全ての学科ではありません
- 豊山生のみを対象とした募集です。校内選考を実施し、出願者が決定してからの出願となります。



②付属枠(通称「全体枠」)

- 令和8年度入試では、文理・芸術・スポーツ科・松戸歯で募集がありました。 ※全ての学科ではありません
- 全付属生を対象に、基準を満たした者が受験します。

①②ともに例年、A4サイズの「志望理由書」を提出します。検討している生徒は1学期のうちに、希望する学部学科についてしっかりと調べましょう。きちんとした調査は、面接の対策などにもつながっていきます。

「総合型選抜」について

総合型選抜とは、一般選抜・学校推薦型選抜と並ぶ大学入試の選抜方法です。今回は、学校推薦型選抜との比較をしていくことで、総合型選抜の理解を深めてもらいたいと思います。まずは、評価ポイントや出願の時期、定員の割合を見てみましょう。

	総合型選抜	学校推薦型選抜
評価されるポイント	学部・学科の求める人物に合う生徒・明確な動機がある	学部・学科の求める水準を満たした学習成績・活動実績
出願時期	9月以降	11月以降
募集定員の割合	私立 22.8% 国立 7.7%	私立 38.8% 国立 12.7%

出典:文部科学省 国公私立大学・短期大学入学者選抜実施状況の概要

この表から、2つの選抜がまったく異なる視点で実施されることが分かります。また私立大学は、募集定員の61.6%が総合型選抜+学校推薦型選抜で入学し、国立大学は一般選抜での入学が中心となっていることが分かります。そのため総合型選抜において、国立大学は私立大学と比較すると、狭き門となっていることが分かります。

次に、出願条件や選抜方法も比較していきます。

	総合型選抜	学校推薦型選抜
出願条件	大学ごとで異なる	評定平均値・英語資格など
一次選抜	書類審査	書類審査
二次選抜	小論文・面接 大学入学共通テスト プレゼンテーション ディスカッション 実験課題など	小論文・面接など

出願条件は大学によって異なり、評定平均値や英語資格が問われないこともあります。一次選抜では評定が記載される調査書や志望理由書などの提出が求められます。二次選抜では、小論文・面接以外にも学力試験などを課す場合があり、各大学ごとの傾向が見られ、それは多岐にわたります。

また、総合型選抜は年内に合否が出ますが、安易に受験するのはとても危険です。他の選抜方法に比べると、大学が選抜に時間をかける分、受験生側もそれなりの準備が求められるからです。対策も多岐にわたるため、事前準備には相当時間がかかります。受験を考えるなら、高1などの早い時期からの対策が必要となります。

高1進路講演会報告

高校生活のスタートにあたり実施した適性検査の振り返りを、各自で動画を視聴する形で実施しました。その動画内で言及されていたことを以下に記しておきます。

①適性検査は単なるタイプ診断ではなく、未来を変えるための重要なデータとなる。高校生活は学年が進むほど多忙を極め、自分を見つめ直す時間を取ることはだんだん難しくなる。だからこそ、比較的余裕のある高1の今、自己理解を深め進路の羅針盤を手に入れることが必要となる。進路実現において最も避けるべきことは「大学合格」をゴールにしてしまうことであり、日々の勉強はただの作業と化し、入学後に燃え尽きてしまう人がいる。大学はゴールではなくスタートだという認識が重要となる。

②志望校決定のタイムリミットは「2年生の冬」とよく言われる。そこから逆算すると、日々の自己管理と学習の質が問われてくる。そのために必要なことは、まずは誘惑のコントロールをすること。「今が楽しければいい」という脳の欲求に流されず、放課後や就寝前のスマホ利用に自らルールを設け、複雑化する高校の学習に耐えうる睡眠時間を確保しなければならない。日々の学習では、苦手科目こそ「よし、攻略してやるぞ」とポジティブに捉える工夫が鉄則だ。脳はストレスを拒絶するが、前向きに挑むことで記憶の接着剤であるドーパミンが分泌され、吸収率が跳ね上がる。授業には頷きや発言をもって能動的に「参加」し、自宅では「一人二役」で自分に解説する説明型学習法を取り入れると、知識はより強固に定着する。

③いきなり大きな目標を掲げる必要はなく、まずは教科書を必ず家に持ち帰り、毎日5単語覚えるといった「小さな成功体験」を積み重ねることだ。一日一日を大切に、自らの脳と行動をコントロールした先に、後悔のない輝かしい進路が開けていく。



特進他大学説明会

6月16日(火)の5・6時間目、放課後(7時間目)に高1・2の特進クラス全員と高3特進希望者を対象に、他大学説明会を実施します。今年度から他大学説明会の実施方法が変更となり、学外でGMARCHを中心に多くの大学をお呼びし、豊山女子高の特進クラスと合同で実施する形となります。人は周りの雰囲気の影響を受けやすいので、他校の生徒と一緒に受講することで、自然と学習に対するやる気が高まるきっかけになります。「何のために勉強するのか」をあわせて考えながら、前向きに勉強に繋がってほしいと思います。

当日は各大学の担当者から入試制度・日程、入試の変更点、平均点、合格ライン、出題傾向、入試対策アドバイスなどを聞くことができます。オープンキャンパス以外で、大学から直接お話を伺えるのは、とても貴重な機会です。有意義な時間にするためにも、事前に各々で疑問点を上げ、質問を用意することが望ましいです。自分の将来に繋がれるように前向きな気持ちで参加しましょう。

当日のスケジュール

12:30~13:45	生徒移動・準備(昼食後に移動)
13:45	出欠確認
14:00~14:30	【第1部】大学入試説明会
14:30~16:00	【第2部】大学入試説明会(30分×3大学)
終了後	生徒は流れ解散

※各説明会終了後、簡単なアンケートがあります。

6月上旬にwebで希望調査を実施しますので、調整後に当日の詳細と聴講する大学をお伝えします。



日大オープンキャンパス情報

現在、各大学でオープンキャンパスの日程が発表されています。自身の進路を決める際に、学習できる内容や施設・学生の雰囲気を見ることができるのは有難い機会です。推薦入試や総合型選抜において、オープンキャンパスへ参加したかどうかを聞かれることもあります。高3になって本格的に勉強が始まる前の高校1・2のうちに気になる大学のオープンキャンパスには参加しておきましょう。ただ、部活動や検定との兼ね合いもあるかと思いますので、事前に日程を把握しておいてください。

下の表は日本大学のオープンキャンパス情報です。時間や内容等の詳細は各学部のホームページを参照してください。あらかじめ質問したいことを整理してから参加しましょう。



学部	日程
法	進学相談会:7/26(日)・11/1(日)
文理	7/12(日)・9/20(日)
経済	8/1(土)・8/2(日) 進路相談会:11/1(日)
商	7/18(土)・7/19(日)
芸術	6/21(日)・8/1(土)・8/2(日)・3/7(日)
国際関係	6/20(土)・7/25(土)・7/26(日)・8/2(日)・9/26(土) 進学相談会:6/21(日)・10/24(土)・10/25(日)
危機管理 スポーツ科	7/19(日)・8/23(日) 進学相談会:6/13(土)・12/5(土)・3/14(日)
理工	6/21(日)・8/1(土)・8/2(日)・11/1(日)
生産工	7/12(日)・8/2(日)・3/20(土) 入試相談会:11/14(土)・11/15(日)
工	5/17(日)・8/1(土)・8/2(日)・10/24(土)・10/25(日)
医	8/1(土)
歯	進学相談会:6/14(日)・7/26(日)・8/23(日)・10/31(土) 4/25(土)・5/31(日)・7/25(日)・8/8(土)・10/11(日)
松戸歯	体験学習会:8/20(木)・3/27(土)
生物資源科	5/10(日)・8/1(土)・8/2(日) 進学相談会:10/24(土) 学科体験会:3/20(土)
薬	5/17(日)・8/1(土)・8/2(日)・3/14(日)

6月の進路行事

- 6月3日(水) 高2特進進路講演会(6時間目)
- 6月6日(土) 高3保護者会(高3保護者)
- 6月16日(火) 特進他大学説明会(高校特進・午後)
- 6月17日(水) 高1特進進路講演会(6時間目)



6月6日(土)は高3保護者会です。今後の付属推薦に関するスケジュールや注意点の説明が主になります。保護者に対しての説明会ではありますが、生徒本人も当然理解しておく必要があります。生徒の皆さんへの説明は、今後のホームルームで担任から行われます。全てが自分のことですので、しっかりと理解して計画を立てていきましょう。



【外部検定について】

高3で指定校推薦や他の推薦等で外部検定の結果を利用したい生徒も多いと思います。近年の傾向として、外部検定の結果を確認するタイミングは校内選考時(例年9月末)になることが多くなっています。また、その条件として、「取得してから2年以上」と記載されていることもあるため、取得が早すぎても遅すぎてもいけません。一例として、昨年度の立教大学の指定校募集条件の中に「出願日から遡って2年以内のもの」とあります。本校ではその使用が校内選考になるので、目安として高3の9月末には取得が済んでいるようにしましょう。

次回7月号は、6月末に発行予定です